

DESIGNED BY

EVT
LLC
EFFICIENT VELO TOOLS

**FIELD
UNIT**

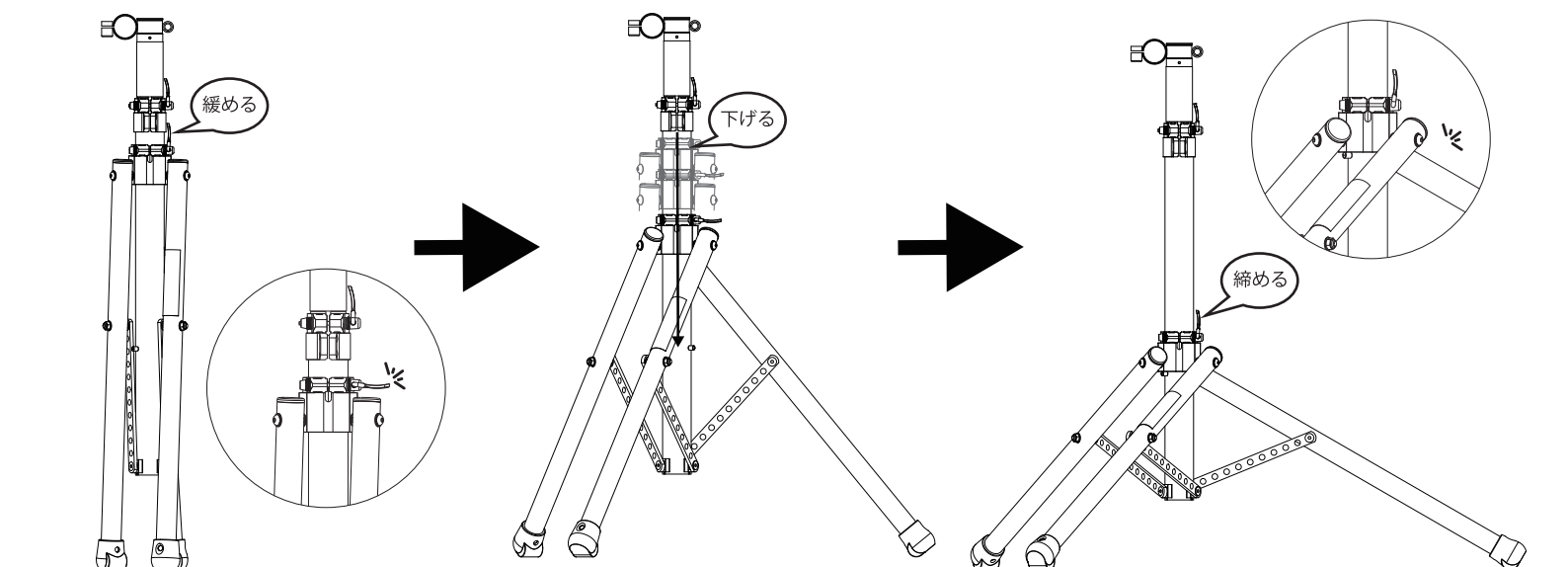
MADE IN JAPAN BY

MINOURA
High-end Solutions For Every Cycling Need

1. 組み立て準備

【部品の確認と三脚の展開】 ※本製品は三脚が連動して動く構造です。

- すべての部品を箱から取り出します。
- 三脚を直立させ、上下支柱接手の下側クイックリリース（以下 QR）レバーを緩めて広げます。
- 支柱下方のストッパーカラーに支柱接手が当たるまで下げたら、QR レバーをしっかりと締めます。
 - 一三脚を最大に広げた状態が推奨する使用方法です。
 - QR の使い方・調整方法に不安がある場合は、お買い求めのショップへお尋ねください。



△ 注意

- 設置場所によって三脚を最大まで広げられない場合は、QR レバーをしっかりと締めることで使用できますが、設置面積が狭くなり安定性が低下します。
 - 転倒などの危険があるため、自己責任で使用してください。
- 上支柱にはグレー色の樹脂管（保護スリーブ）が付いています。
 - 上支柱が QR レバーを緩めて自然落下した際に下支柱の部品を破損させないためのものです。絶対に取り外さないでください。

2. ライトアームクランプ（以下 RAC）クランプの取り付け

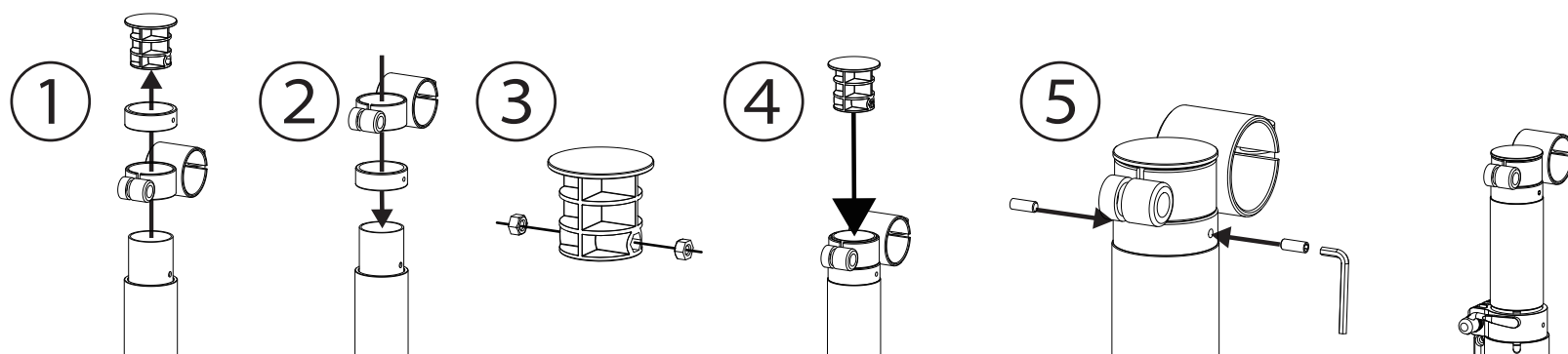
【先端キャップ・クランプスペーサー・クランプベースの取り外し】

- 先端キャップ、クランプスペーサー、クランプベースを支柱から引き抜きます。
- 先にクランプスペーサーを通し、その後にクランプベースを溝を下側にして通します。

【六角ナットの取り付け】 ※【A】のパーツと 3mm レンチを使います。

- 先端キャップにある六角の穴に六角ナットをはめ込みます。
- ナットが脱落しないように注意しながら、支柱にフタをします。
- 支柱に開けられた穴とクランプスペーサーの穴、先端キャップに入れたナットの芯を合わせます。
- クランプスペーサーの外周からイモネジの先端が飛び出ない程度まで締めます。
（締め切った感覚はありませんが、十分に固定されます。）

【A】
イモネジ ---2
六角ナット ---2



お問い合わせ先

修理や故障のご依頼の場合は、添付の製品保証規定をよくお読みになった上で、まず最初にお買い求めになったショップにご相談ください。

<販売元>

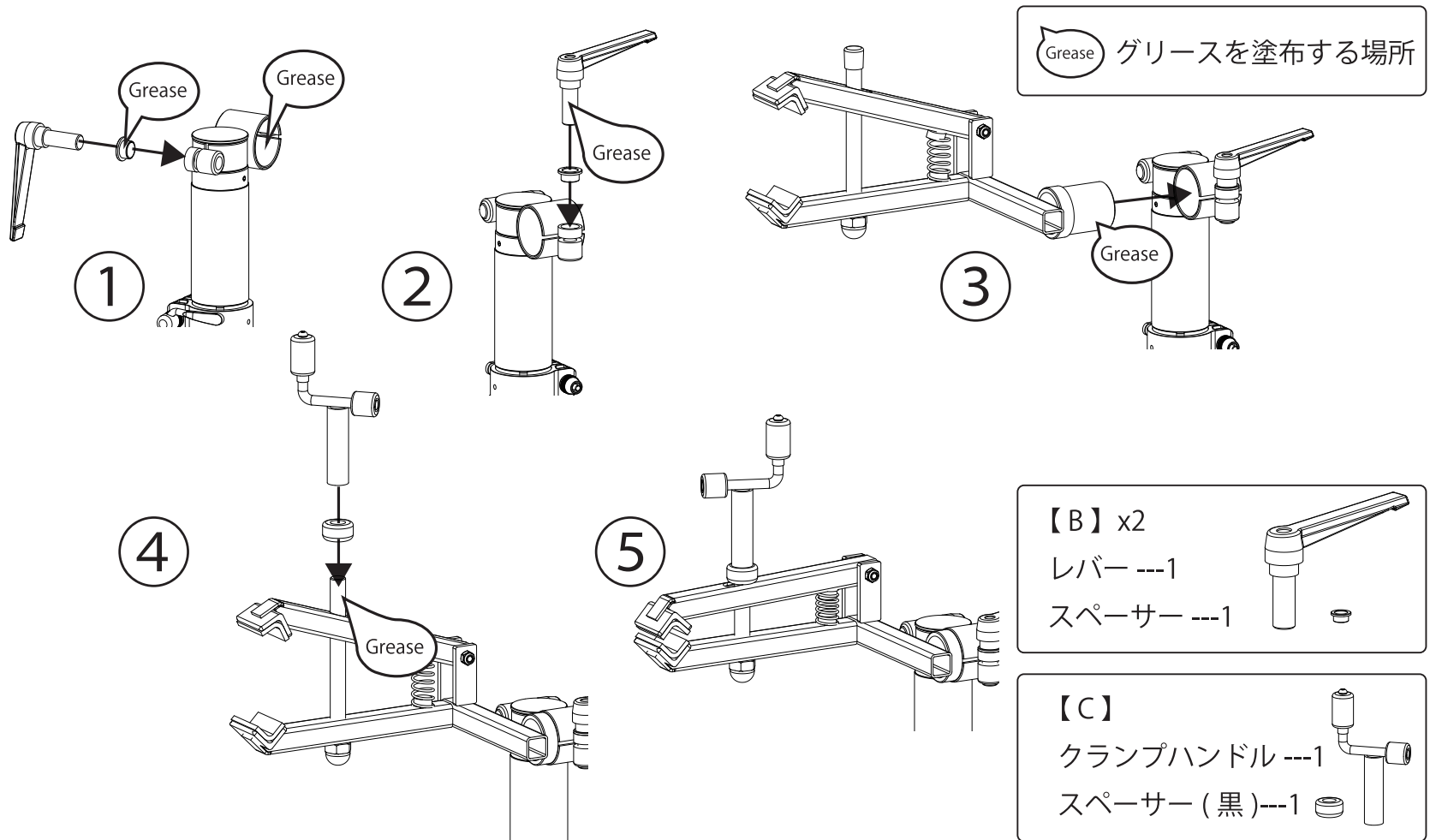
株式会社 フカヤ 〒460-0015 愛知県名古屋市中区大井町 1-37-3F
Phone : (052) 228-8910 / Fax : (052) 228-8917
URL : www.fukaya-nagoya.co.jp

<製造元>

株式会社 箕浦 〒503-2312 岐阜県安八郡神戸町下宮 134-1
Phone : (0584) 27-3131 / Fax : (0584) 27-7505
URL : www.minoura.jp / Mail : www.minoura.jp

【レバー・クランプベースの取り付け】 ※【B】と【C】のパーツを使います

- ・レバーをクランプベース支柱側へねじ込みます。
- ・クランプベースの RAC 取り付け部（筒状部品）の内側は錆びやすいため、同梱のグリースを少量塗布してください。
- 各ねじ部・回転部にもグリースを塗布してください。
- ・クランプベース筒状部品側へレバーをねじ込みます。
- ・RAC を奥まで差し込み、レバーを回して固定します。
- ・ロングボルトの先端にある保護キャップを外します。
- ・ロングボルトヘスペーサー（黒）をはめ、クランプハンドルをねじ込みます。
- ・グリースが十分塗布されていることを確認し、クランプハンドルを使って RAC の開閉を行います。



3. 使用上のポイント

【クランプレバーの可動機構】

- ・レバーには、FIELD UNIT 使用中の操作がしやすいように、自在にハンドル角度を変えられる機構があります。レバーをネジの軸に対して外側へ引き出すと空回りし、戻すと固定されます。

【フロントギア位置について】

- ・通常使用時は、フロントギアの外側側にチェーンをかけておいてください。
ギアの歯によってけがすることを防止できます。

【車体固定の推奨位置】

- ・FIELD UNIT で車体整備・調整を行う場合、クランプの開度はフレーム形状や素材に対して十分な調整範囲があります。どの部位を掴んでも構いませんが、EVT 社が推奨する最適な固定位置はシートポストです。

※ 以下の説明では、シートポストを掴むことを前提に解説します。

【シートポストのクランプ手順】

- ・RAC クランプを全閉状態からクランプハンドルを 7~10 回左回しして緩めると、開口部が 30mm~40mm に開きます。
- ・自転車を持ち上げ、シートポストを開いたクランプにのせます。
- ・クランプハンドルを数回右回しして閉じ、シートポストを掴んだ位置で止めた後、さらに 1/2 回転させます。
- ・本革製のクランプカバーは、この状態で車体を十分にグリップできますが、不安がある場合はもう少し増し締めしてください。

【滑り止め付き脚の活用】

- ・三脚の 1 本には滑り止めテープが貼られています。この脚を作業時の正面にすると、片足を滑り止めテープにのせてダウンチューブを持ちながら車体を上げる際の支えになります。QR レバー操作の補助にもなりますので、うまく活用してください。

【クランプカバーの交換】

- ・本革製のクランプカバーは長期間使用可能ですが、摩耗してすり減った場合は、別売りの補修用カバーへ貼り替えてください。